

# 調査項目の選択肢に係る自治体間のバラツキの比較について

○平成20年と平成21年の自治体間の項目選択率のバラツキ(標準偏差)を比較※1

○対象:

見直し後の方式により、平成21年4・5月に判定を行った事例を認定支援ネットワークに6月17日までに100例以上報告した433自治体※2

○平成20年と平成21年のバラツキを比較して、74項目のうち、統計学的有意にバラツキが小さくなったのは33項目、有意にバラツキが大きくなったのは9項目(うち1項目は、明らかな基準の変更はない。)(有意水準0.05未満)

